

弓道なごの

第39号

発行：長野県弓道連盟
会長 土川俊市
〒399-6303
塩尻市奈良井611
TEL0264(34)3063
編集：県弓連広報部
印刷：(株)成進社印刷

巻頭言

正受老人 一日暮し

長野県弓道連盟副会長

平野 英孝



或る人の咄に「吾れ世の人と云うに『一日暮しといふを工夫せしより、精神すこやかにして、又養生の要をえたり』と。如何となれば一日は千年万歳の初なれば、一日よく暮すほどのつとめをせば、其の日過ぐるなり。それを翌日はどうしてかうしてと、又あひても無き事を苦にして、しかも翌日に呑まれ、其の日怠りがちになり。つひに朝夕に至れば、又翌日を工夫すれば全體にもちこして、今日の無きものに思ふゆゑ、心気を遠きにおろそかにしそる也。兎角翌日の事は命の程も覚束なしと云ふものの、今日のすぎはひを粗末にせよと云うでなし。今日一日暮らす時の勤めをはげみつとむべし。如何程の苦しみにても、一日と思えば堪え易し。楽しみも亦、一日と思えばふけることもあるまじ。

愚かなる者の、親に孝行せぬも、長いと思う故也。一日一日を思えば退屈はあるまじ。一日一日とつとむれば、百年千年もつとめやすし。何卒一生と想うから大そうなり。一生とは永い事と思へど、後の事やら翌日の事やら、一年二年乃至百年千年の事やら、知る人あるまじ。死を限りと思えば、一生にはだまされやすし。」と。一大事と申すは、今日只今の



古澤博範士指導により正受庵上棟式の筆者

私たちが、弓道を志す者にとつても当てはまるところが多いと思われまますので、紹介させていただきます。それぞれの解釈については、スペースの関係で皆さまにお願いしたいと思いますが次のところだけお伝えします。一大事と申すは、今日只今の心也。それをとおろそかにして翌日あることなし。

心也。それをとおろそかにして翌日あることなし。総ての人に、遠き事を思い謀ることあれども、的前のいまを失うに心づかず。私の住む飯山に「正受庵」という小さな庵があり、創庵は江戸寛文年代といわれております。小さな茅葺きの庵主「正受道鏡慧端」(地元では、親しみをこめて「正受老人」と呼ばれておりました。)この正受老人が昔の人の咄をお聞きになって、「成る程、これは大切なことだ」ということで、弟子たちに言い伝えたものが、文字になつて残されておりました。「一日暮し」ということを自分なりに一生懸命工夫して、考えたところが、誠に心が爽やかになつて体のためにも非常に良かったと説かれております。



正受庵本堂

これは、今日をおろそかにして、そして明日は良い明日であろうなんて、勝手なことを考えてもそうはいかない。今日きちつと一生懸命に努めるような心掛けがなければ、訪れてくる明日という日も、また墮落した日になつてしまふ。今日一日をしつかりと努める。明日もまたそのような一日がくるようにしなければいけない。正に道場での練習の一矢、大会の一矢、審査の一矢、この一矢は一生に一度しかないわけで、全身全霊をつくすべきと正受老人が説いておられるようです。(私の心の師古田十一郎氏公演集より)



第32回 北信越国民体育大会 弓道 競技会

8月27日、28日

県営飯田弓道場



少年男子



成年男子

本国体出場へ

少年男子 成年男子

遠的も近的も制す

第32回北信越国体(ミニ国体)弓道競技会が8月27日、28日の二日間、県営飯田弓道場で開かれ、長野、福井、新潟、石川、富山の北信越5県から60名の選手が参加し、本国体への出場権を目指して、熱戦をくり広げた。県勢では少年男子、成年

男子の活躍がめざましく、遠的、近的ともに一位の完全優勝を遂げて、本国体への切符を手にしたが、女子陣はよく健闘するも残念ながら及ばず、夢は来年に持ち越された。大会の成績結果はつぎの通り

- 選手名簿■
北信越国体長野県選手団
▽少年男子 金子周 林貴徳 前田聖也 (監督) 高地美佐子
▽少年女子 竹花葵 伊藤千佳 柳澤真純 (監督) 亀岡英司
▽成年女子 武田礼子 山田静香 井原寿恵 (監督兼任)
▽成年男子 志村仁 (監督兼任) 市川隆光 平澤敏広

- 第1日 遠的 36射
▽少年男子 ①長野201点 ②石川191点
③富山149点 ④新潟149点 ⑤福井141点
▽少年女子 ①新潟157点 ②福井149点
③石川114点 ④長野106点 ⑤富山96点
▽成年女子 ①新潟200点 ②福井165点
③長野164点 ④石川128点 ⑤富山128点
▽成年男子 ①長野250点 ②石川229点
③新潟208点 ④富山175点 ⑤福井149点
- 第2日 近的 36射
▽少年男子 ①長野32中 ②福井29中
③新潟27中 ④石川27中 ⑤富山21中
▽少年女子 ①石川30中 ②新潟25中
③長野23中 ④福井21中 ⑤富山15中
▽成年女子 ①新潟25中 ②石川25中
③富山23中 ④長野21中 ⑤福井17中
▽成年男子 ①長野30中 ②石川29中
③新潟28中 ④富山25中 ⑤福井25中
- 総合成績
▽少年男子 ①長野12点 ②石川6点
③福井5点 ④新潟5点 ⑤富山4点
▽少年女子 ①新潟10点 ②石川9点

③福井6点 ④長野5点 ⑤富山2点
▽成年女子 ①新潟12点 ②石川6点
③福井5点 ④長野5点 ⑤富山4点
▽成年男子 ①長野12点 ②石川8点
③新潟6点 ④富山4点 ⑤福井2点

本国体への出場権は、成年男子は総合3位まで、少年男女及び成年女子は総合2位まで。出場権獲得数は、石川4、新潟3、長野2となった。

(松澤 英男)



長野県選手団



第2日 近的競技始まる



ミニ国体アラカルト

選手の入場を待つ



本県成年女子チーム



開始式



炎天下の的前審判



矢渡し



声援



遠的少年女子



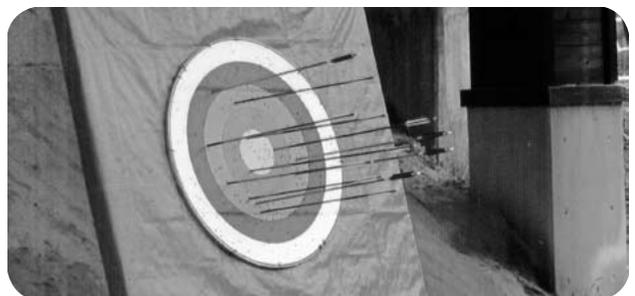
表彰式



記録係



片付けあとのお礼の挨拶



お見事! 的中!

北信越国体を終えて

強化部長 新津 一夫

強化部を任されて半年、今まで経験したことのない高校生の予選会が雪の降る冬から始まり、30℃を超える真夏の強化練習。選ばれた選手は目に見えないプレッシャーと練習量からくる的の低下。強化部としても選手の調子の変化にはいつもピリピリしているが、なかなかいつも見ているわけではないから指導も難しい。本番での中ししてくれば良い訳だがいつもの中ししてくれば安心感はあるものの、中らないときの対応の判断が難しい。今年は長野県での開催であり、地元の期待も大きい中、不安要素も多い。そんな中本当に選手たちは一生懸命合宿で弓を引き、課題を投げかけられての繰り返し。でも弱音を吐かずによく頑張ってくれた。



私は昨年遠的優勝の実力があり、練習から安定した得点を出していたが、他県もレベルを上げてきている。少年男子は三人が成年男子を目標に頑張っており、成年男子のレベルの高さが少年のレベルをあげている気がする。時には、成年を上回ることもしばしばあるが、成年もすぐに巻き返してしまう。そんなすばらしい環境であった。



女子は実力がありながら、なかなか歯車がかみ合わない状態で本番を迎えてしまった。結果は成年男子と少年男子は両日とも一位で本國体の切符を手にしたが、女子は惜しくも後一步のところまで予選落ちしてしまったが、合宿によく耐えてここまでできてくれたと思う。と、同時に指導の難しさも感じた。

今年の本國体には成年男子、少年男子と二種別で参加するが、入賞目指して頑張りたい。

これは今年強化選手になった者すべての望みであり夢である。応援よろしくお願いします。

がんばれ!
長野県勢!

山口国体

10月2日(日)～5日(水)

【山口県弓道場】山口県山口市維新公園4丁目1番1号

出場選手一覧

- ▼少年男子
 - 金子 周
 - 林 貴徳
 - 前田 聖也
 - (監督) 高地美佐子
- ▼成年男子
 - 志村 仁 (監督兼任)
 - 市川 隆光
 - 平澤 敏広

講習会報告 中日本女子講習会

心の冴えが弓の冴え

諏訪支部 山口 久美子

去る六月二四・二五日の両日、京都市武道センターにて、女子講習会／中日本の部を受講して参りました。

講師に、佐竹範士、本多範士、澤田範士をお迎えし、中日本各地から総勢四五名が受講しました。

連日三四度を超える猛暑の中、厳しく、時にはユーモアを交えての講師のご指導に、何か一つでも持ち帰り、各地連の皆様にもお伝えしたいと、受講生一同必死の思いで取組みました。

澤田範士からは、武道である弓道では、逞しさ・鋭さ・技の冴えなどが人を引付ける魅力となることや、隙を作らないこと、心の勢いが姿勢に現れることなどを教示頂きました。

また、指導者は自分が範示できるように、自分を見つめて繰り返し粘り強く、コツコツと努



力することが重要である、とお話し下さいました。

本多範士は、弓に取組む心構えや、自分に勝つ強さ・直向さ・謙虚さを忘れないこと、隙を作らないことなど、ご自身の体験をもとに、厳しくそして楽しく

お話し下さいました。

また、ご自身で何射も何射も射技をご披露くださり、技術面でのポイントもご指導下さいました。

佐竹範士は、武士が隙を見せない理由・礼を尽くす理由を例に、日常でのトレーニングや、頭で考えなくても体配がきちんとしていくようにする稽古の重要性をご指導下さいました。そして、「弓道していてオタオタしては駄目。何事にも動ぜず臨機応変に対処すること。日常生活にも通ずる事です。」と、心の在り方をお示し下さいました。さらに、「体の真中をしっかりとすること、そこに心がある。(心を総体の中央に置き・・・) 技術だけを求めても駄目。心の冴えが弓の冴え。」とのご指導を頂き、日頃小手先の技術に捉われがちな自分自身を大いに反省致しました。

基本体・基本の動作の確認、射礼研修、射技指導、スポーツ指導員の研修等を通じてご指導頂いたことの中で、一貫していたのは、「体幹をしっかりとする



こと、その上で初めて弓が引ける。そして心の在り方が重要である。」ということでした。即ち、礼記の遺訓、射法訓そのものと感じました。

まさに酷暑でした。二日間、汗塗れになり、立ちっぱなしでのご指導下さった講師の先生方に対し、心から感謝とお礼を申し上げたいと存じます。

講習会報告

北信越地区地連幹部講習会を受講して

上小支部 教士六段 重田 功

今回で、標記講習会が最後になるとの事、7月9日、10日の両日上越市高田弓道場で開催された。講師小宮栄子、戸羽久之両範士八段の先生の指導を受ける。初日一

午後は基本体・基本の動作、立つ・座る・歩くは何時も自然体で項を伸ばし、目は鼻頭を通して、立つ・座る時も胴造りが崩れない様に、歩く時は「土ふまず」で歩く事、足の運びは呼吸に合わせる、等当たり前の事を研修する、正にこれが基本である。射礼研修では、

物見返し・取懸けでの立ち上り方。射手が一体となり間合い・息合い・気合い等に気配りし、調和の取れた美しさを出してほしい等の指導。別班では一つの射礼に気合いの入った体配等基本に汗を流して取り組んだ。別実習では替弓の渡し方・矢の処理・櫛さばき・肌ぬぎ肌入れの動作を実習する。気合いが入り暑さも倍増し汗だくである。

次に射技指導を受け初日を終わる。二日目は、射礼の研修より始める。我が班は一つの射礼の行射から。講師より間合いの取り方、息合いに合わせたの動作、気合いが一致して射手同士調和よく運行しなければならぬ、射手に「失」があった時は他の射手も同様の責めを感じ、処理がすむまで跪坐して待つ等の指導を受ける。別班では立射礼の次に巻藁射礼にと体配を主に気合いの入った研修に汗を流した。戸羽講師の講話、肩を怪我をし



て自分ではもう弓は引けないのではないかと思うも講習会等で直された所を根気よく稽古して押手を真中から押す押し方を覚えた、との話には目頭が熱くなった。質疑応答では多くの質問が出ましたが、皆さんはそれぞれの場に応じた対応をしてほしい、最後の研修は前日同様射技指導を受ける。個々に時間を掛け気合いの入った指導である。「弓は手で引かず体で弓の中に割り込んで離れを作ってほしい」との指導を受け此の暑さに負けず充実した気持ちで閉講式に臨んだ。

弓道合宿予約随時受付中！

野辺山洗心弓道場

近的道場 18人立1ヶ所 (床暖房完備)
12人立2ヶ所
遠的道場 1ヶ所

帝産ロッヂ

〒384-1305
長野県南佐久郡南牧村野辺山 1003
HP : <http://www.teisanlodge.com/>
ご予約・お問い合わせは 0267-98-2861

私と弓道

「道標」

上伊那支部 水田 明美

さて、何を書いたらいいだろう・・・真つ白な原稿用紙を前にして途方に暮れる。好きな弓道の事だから、さぞかしすらすらと筆が進むと思いきや、そうはいかない。弓に対する自分の思いとは、こんな程度のものであったのかと半ば呆れながらも、弓を始めた頃から今までの事を思い出していた。

ある時、地元市の報の片隅に偶然見つけた「弓道教室生徒募集」の小さな記事。「弓道」という言葉に何故か強く惹かれて、弓道場の門をくぐったのが平成六年。それ以来、いつのまにか夢中になつて弓を引いていた。それまではどんな事も長続きしなかった。生来の性分である。そんな自分が弓道だけはやめる事はなかった。弓を引いてきた長い間には楽しかった事、嬉しかった事が幾つもあった。弓に行き詰まり、悩み苦しんだ事もある。心が挫け、数ヶ月弓から離れてしまう事もあった。しかし、気が付けば再び道場に戻ってきて

いた。弓が引きたかったのだ。

そして現在、地元駒ヶ根市の弓道部の先生方、多くの仲間に囲まれ支えられながら、的に向かつている自分がいる。弓道を通じて多くの事を学んだ。しかし、もともと未熟で小さな自分である。まだまだ学ぶべき事がたくさんあるはずだ。今、自分に出来る限りの精一杯の弓を引いているか？最近、自分自身に問い掛ける事だ。ぼやけた日常を過ぎ、漠然と弓を引いて、自分にとって大切な事を見落としていく訳にはいかない。いつか弓から離れる時が来る。その時までには後どれくらいの弓を引く事ができるだろうか？

今思えば、十七年前、「弓道」という言葉に惹かれたあの時、自分に足りない何かを探していく為の道標を見つけたのかもしれない。



「弓道を再開して5年」

長野支部 五段 穂倉 敏勝

私が長野に引っ越してきたのは昨年の五月。引っ越す前にまず中島弓具を訪れ情報収集、その後長野運動公園弓道場を見学してから、不動産屋に行き、住宅探しを始めた。自分の住む家よりも、まず道場の環境というのは私だけではないですよ。そんな私は愛知県東海中学で弓道に出会い、まさに弓に懸ける青春でしたが、高校二年で弓道部を引退してから、弓との縁が全くありませんでした。

四年前にたまたま手にした広報に初心者弓道教室の案内があり、品川区の道場を訪れたのが、再開のきっかけでした。二十七年経っても平付けの癖まで体が覚えており、矯正しましたが、現在も妻の手の手首に力が入り苦労しています。

長野に住んで、観光は射会ついでに松本城や善光寺に行ったりしますが、すでに十箇所以上の道場で引かせていただき、趣のある道場や広大な十人立ち道場・遠



的有り、使用料格安、駐車場無料など弓を引く環境の良さにただ驚いた一年でした。さらに範士・教士の先生方の多さや県連としての指導体制の充実ぶり、毎月チェックしないではいられない長野県連ホームページなどずっと長野に住んでいたいと思う日々です。

弓道は他の多くのスポーツと違い、独りでもできますが、この道場でも受け入れてくれる仲間がいます。

いつか長野を離れるときが来ると思いますが、そのときまでに県内に多くの弓友を得たいと思っています。射会等で見かけたら声を掛けてください。

今回このような機会をいただいたことに感謝いたします。

平成23年度北信越連合会会長・理事長会議報告

北信越国体開催中の8月27日に行われた北信越連合会会長・理事長会議の概略を報告いたします。(一部まだ流動的な部分もありますので、変更される可能性があります)

全日本弓道大会(京都)は26年から五千万円

東日本大震災の義援金は7月までに三千万円あつまる
審査申込用紙は24年度から改訂用紙で実施を検討

全日本弓道連盟理事会報告(平松新潟県会長)(変更点のみ)

●機関誌「弓道」A5判をB5判に大型化(24年4月予定)

●事業の見直し
講習会

・指導者育成講習会(新設)

対象50歳以下の五段から錬士六段

北信越ブロックは7月14・15日石川県で開催

・地区指導者講習会は地区中央講習会に名称変更

競技会

・全日本弓道選手権大会

・参加選手は各県原則男女各2名

・高校選抜大会

開催時期を12月に変更

・大会参加料の見直し

北信越連合会の対応

●大会

全日本弓道選手権大会北信越ブロック予選会は継続(名称・内容等詳細は後日決定する。開催は当番県とする) 24年は福井県で7月29日開催

●講習会

地連幹部講習会、女子講習会は廃止

●北信越高等学校弓道新人大会を連合会主催で開催(今年は石川県で12月開催)

(杉田 博)

大会結果

第54回 近県弓道上田大会

○5月29日(日) 上田城跡公園弓道場

▲高校個人男子の部結果

- 1位 滝澤銅一(須坂)
- 2位 花里勇輝(北佐久農業)
- 3位 大塚章平(須坂)

▲高校男子団体の部結果

- 1位 松本美須ヶヶ丘A
(座間俊兆、遠山健人、宮原駿、宮田太陽、小山敏是)
- 2位 上田A
(飯塚寛貴、小林佑太、竹村真二、須坂D)
- 3位 須坂D
(久保亮太、関口大輔、竹内裕亮、宮下恭治、山崎征樹)

▲高校個人女子の部結果

- 1位 遠山和泉(松本美須ヶヶ丘)
- 2位 中島珠里(上田)
- 3位 小林里衣(須坂)

▲高校女子団体の部結果

- 1位 中野立志館B
(内田百香、出川奈津紀、岡田摩美、三井田絢音、小川莉穂)
- 2位 野沢南A
(日向礼奈、神津和納、塩川ひかる、油井陸実、古橋遙)
- 3位 松本美須ヶヶ丘女子A
(遠山和泉、山本沙耶、和地珠緒、藤田真帆、勝家美菜)

▲一般個人の部結果

- 1位 安藤直貴(須坂)
- 2位 濱隆彦(信大B)
- 3位 山下貴(信大B)

▲一般団体の部結果

- 1位 信大A
(関浩道、島田有里子、安藤唯幸、那須将樹、中島陽太郎)
- 2位 信大B
(濱隆彦、本多勇太、長谷川由貴、小野美砂、山下貴)

3位 上田A

(手塚信幸、羽田利矢子、高橋正弘、阿部緑、安藤教光)

第51回 近県弓道大会兼西沢杯争奪弓道大会

○6月11日(土) 山ノ内弓道場

参加数…一般のみ23名(4ツ矢2回8射)

▲結果

- 1位 小山謙太郎(須坂市) 7中
- 2位 郷道隆志(中野市) 6中
- 3位 栗林正直(小諸市) 6中
- 4位 夏目澄江(中野市) 5中
- 5位 中島勁(長野市) 5中

▲敢闘賞(賞外の方全員で射詰め競射)

- 金メダル 飯田秀樹(飯山市)
- 銀メダル 新崎陸美(小諸市)
- 銅メダル 佐藤明次(中野市)

▲金的賞

- 荒井美由紀(小諸市)、夏目澄江(中野市)、栗林正直(小諸市)

▲特別賞
夏目澄江(中野市)

第58回 全信州弓道大会

○6月12日(日) 山ノ内弓道場

▲高校の部

- 参加数…高校の部 男子34チーム、女子33チーム(16校)
- ▲高校男子結果(18射、一人一手と四ツ矢1回)
- 1位 飯山北Aチーム
- 2位 町田光、佐藤大希、常田雅幸 12中
- 3位 長野日大Aチーム
- 遠藤融成、宮澤大、広沢忠利 11中
- 上田東
- ▲高校女子結果(18射、一人一手と四ツ矢1回)
- 1位 中野西B
- 2位 北村彩花、重倉朱莉、島田祐衣 12中
- 3位 中野立志館B
- 内田百香、関愛澄、小川莉穂 9中
- 長野東A
- 塚田めぐみ、青木祐菜、渡辺千穂 9中

▲金的賞

- 勝山貴文(須坂)、竹内隆真(須坂)、降旗迅

(須坂)、加藤和希(須坂)、久保亮太(須坂)、小林愛実(飯山北)

参加数・18名
▲一般個人結果(8射 4ツ矢2回)
1位 郷道隆志(中野市)

2位 宮阪和久(山ノ内町)
3位 小林博正(上田市)
4位 中島勤(長野市)
5位 河野利一(飯山市)

▲金的賞
小林博正(上田市)

長野県弓道近の選手権大会

○22年6月19日(日) 上田城跡公園弓道場

★近の8射。同中は競射により決定。

▲男子有段者の部結果

1位 市川隆光(諏訪支部)
2位 中村健二(飯伊支部)
3位 手塚信幸(上小支部)
4位 松井幸彦(安曇支部)
5位 清水伸浩(諏訪支部)

▲女子有段者の部結果

1位 窪田和恵(大北支部)
2位 伊藤和子(飯伊支部)
3位 水田明美(上伊那支部)
4位 中田美千(松本支部)
5位 伊藤梓(長野支部)

▲男子称号の部結果

1位 柴種徳(上伊那支部)
2位 亀岡英司(南佐久支部)
3位 平澤敏弘(飯伊支部)

▲女子称号の部結果

1位 相原由美子(小諸支部)
2位 高地美佐子(上小支部)
3位 武田礼子(中高支部)

▲技能優秀者
男子有段者の部 高際和美(松本支部)

○7月2日(土) 塩尻市弓道場
★団体戦は1人4射、1チーム合計12射3回、36射の合計の中数で順位決定。個人戦は各自4射3回の12射。

▲団体の部男子結果
1位 長野日大B
2位 長野日大A
3位 長野日大C

7 7 7
中 中 中

▲団体の部女子結果
1位 長野日大B
2位 伊那
3位 長野日大C

▲個人男子結果
1位 千野翔(長野日大)
2位 秋山豊人(菅野)
3位 青木俊太郎(長野日大)

▲個人女子結果
1位 瀧澤里帆(長野日大)
2位 原茉莉子(伊那)
3位 岡宮遙奈(長野日大)

第10回長野県弓道大会(長野)

○7月18日(月) 長野運動公園弓道場

参加数・130名

▲個人の部 中学生個人戦結果(8射)

1位 山口明莉(長野運動公園クラブ)
2位 福沢健(須坂弓道会)
3位 黒田康平(須坂弓道会)



山口明莉

▲一般個人戦の部結果(8射)
1位 安藤直貴(蜻蛉倶楽部)
2位 宮島さおり(競成会)
3位 金原正(オール信州)
4位 岡田宏之(飯山ダンディーズ)
5位 栗林正直(小諸懐古)



安藤直貴

▲一般団体戦の部結果(8射×3人≡24射)
1位 競成会(長野支部)
2位 宮島さおり、伊藤梓、佐藤正之、蜻蛉倶楽部(須坂弓道会)

小山謙太郎、安藤直貴、大蔵務
3位 オール信州(佐久支部)
金原正、掛川渡、増田亮



競成会

全日本選手権大会北信越ブロック予選会

○7月24日(日) 新潟県上越市

▲全日本選手権大会長野県代表結果

男子 宮坂博之(諏訪支部) 県代表
女子 武田礼子(中高支部) 県代表
女子 久保田智恵(上伊那支部) ブロック代表

長野県弓道遠の選手権大会兼第62回全日本弓道遠の選手権大会長野県予選会

○8月7日(日) 県営飯田弓道場

参加人数・男子39名、女子18名

★遠の12射。同中は競射により決定。

▲男子結果

1位 平澤敏弘(飯伊支部)
2位 小沢剛志(上伊那支部)
3位 志村仁(諏訪支部)
▲男子全日本選手権大会長野県代表結果
平澤敏弘(飯伊支部)
永藤聡(須高支部)

▲女子結果

1位 高地美佐子(上小支部)
2位 武田礼子(中高支部)
3位 栗林薫(松本支部)
▲女子全日本選手権大会長野県代表結果
高地美佐子(上小支部)
武田礼子(中高支部)

安曇野大会

○8月7日(日)

▲高校団体の部結果

1位 松商学園A
富岡大輔、浦塚雅史、松井勇樹 9中

2位 松本美須々B
小林遥太、小林洋樹、片桐拓人 8中
3位 諏訪双葉C
小林もと、松澤明日美、山田浩也 8中

▲高校個人の部結果
1位 富岡大輔(松商学園A)
2位 中村周平(豊科OB)
3位 片桐拓人(松本美須々B)

▲一般団体の部結果
1位 安曇野A A O
猿田功一、丸山恒治、丸山萬佐巳
2位 飯山ダンディーズ
岡田宏之、須藤虎夫、河野利一 6中
3位 小諸スミレ
依田恭枝、荒井美田紀、小坂末治郎 6中

▲一般個人の部結果
1位 丸山恒治(安曇野A A O)
2位 栗林正直(小諸懐古)
3位 守屋道則(大北)

第8回全国中学生弓道大会結果

○8月20(土)〜21日(日) 明治神宮

▲女子個人

6位 瀧澤里帆(長野日大)

第57回大町市制記念県下弓道大会

○8月21日(日) 大町市運動公園弓道場

参加数・134名

▲近の高校団体の部結果

1位 豊科高校A(小原、高山、水谷)
2位 松本美須々C(佐藤、片桐、宮原)
3位 穂高商B(下里、山本、佐藤)

▲近の一般団体の部

1位 大町高校OB(松井、逸見、須澤)
2位 おむすびころりん(野澤、海野、宮島)
3位 あずみ(渡辺、秋山、松井)

▲近の個人の部(一般、高校共通)結果

1位 水谷 蒼 2位 西澤 徹
3位 小原優紀 4位 宮原 駿
5位 中山雅之
▲遠の個人の部(一般、高校共通)結果
1位 松井 剛 2位 宮島 凌
3位 西澤 徹 4位 酒井優太
5位 穂倉敏勝

第32回北信越国民大会弓道競技

○8月27日、28日 県営飯田弓道場

▲総合成績

- 1位 少年男子 (金子周、林貴徳、前田聖也)
 - 3位 少年女子 (竹花葵、伊藤千佳、柳澤真純)
 - 4位 成年女子 (武田礼子、山田静香、井原寿恵)
 - 1位 成年男子 (志村仁、市川隆光、平沢敏弘)
- ★少年男子、成年男子が山口国体の出場権を獲得

第26回北信地区高校弓道大会

○8月28日(日) 長野運動公園弓道場

主催・長野市弓道連盟

参加数・515名(男子223名、女子292名)

▲団体の部男子結果(24射)

- 1位 須坂A (久保亮太、加藤和希、山崎征樹)
- 2位 長野日大D (中村誠人、横川大輝、大宮樹)
- 3位 飯山北A (町田光、佐藤大希、常田雅幸)

▲団体の部女子結果(24射)

- 1位 篠ノ井D (松本成美、西村紀子、古家史織)
- 2位 須坂B (町田美里、深澤香琳、豊田有紀)
- 3位 長野西B (高野淑恵、倉澤亜未、原山友葵奈)

▲個人男子の部結果(8射)

- 1位 山崎征樹(須坂) 8中
- 2位 佐藤悠成(長野日大) 6中
- 3位 中村誠人(長野日大) 6中
- 4位 関口直也(長野吉田) 6中
- 5位 西澤彰太(長野) 6中

▲個人女子の部結果(8射)

- 1位 永江有子(長野日大) 8中
- 2位 豊田有紀(須坂) 7中
- 3位 市川夕貴葉(須坂) 7中
- 4位 渡辺千穂(長野東) 7中
- 5位 山崎仁美(飯山北) 6中

第89回諏訪大社御射山奉射会 第61回近県弓道下諏訪大会

○8月28日(日) 下諏訪町菅弓道場、野球場

参加数・222名

▲奉射の部結果(遠的4射)

- 1位 片桐慧裕(弓信会) 4中
 - 2位 柳沢明(下諏訪皇月) 3中
 - 3位 萩原和哉(超平和バスターズ生クリーム多め) 3中
 - 4位 湯沢幸司(駒ヶ根A) 3中
 - 5位 坂口加緯(上田A) 3中
- ▲近県個人の部結果(近的4射+遠的4射)
- 1位 片桐慧裕(弓信会) 6中
 - 2位 中山雅之(大町高校a) 5中
 - 3位 矢田智禎(美須々男子D) 5中
 - 4位 小口美帆(ボン太くん) 5中
 - 5位 湯沢幸司(駒ヶ根A) 5中

▲近県団体の部結果(8×3人≡24射)

- 1位 下諏訪皇月 (長幅政博、金子幸平、柳澤明) 11中
- 2位 美須々男子D (矢田智禎、小林夏樹、遠山健人) 11中
- 3位 ボン太くん (藤森春香、宮坂光哉、小口美帆) 10中

平成23年度 長野県弓道支部対抗競技会

○9月4日(日) 県営飯田弓道場

▲総合成績

1位 諏訪

▲近的成績

1位 上伊那

▲遠的成績

1位 諏訪

▲個人近的成績

1位 長野

▲遠的成績

1位 仁(諏訪)

▲速的成績

1位 仁(諏訪)

審査合格者

「北信越地区」錬士臨時中央審査

6月12日

▽錬士 樋口 浩昭 (須高支部)

瀧澤 和枝 (安曇支部)

宮島さおり (長野支部)

表彰

日本体育協会・日本オリンピック委員会創立百周年記念事業功労者表彰

○村松康尾 (飯伊支部)

らっしゅ

三年前、道場が建て替えられて、以前より見学される方が多くなりました。外国の方も沢山見学にお見えになり、驚いております。

先日、ドイツの方が見学に来られました。たまたまその日、道場には二人しか居らず、私のご案内することになってしまったのですが、私など母国語もあやしいのに、ドイツ語など話せる訳も無く...カタコトの英語：イヤ単語と身振り手振りで応

対をしたのでした。その間、私の頭に思い浮かんだ事と言いましたら、なんと「デイス・イズ・ア・ペン」...!!!

事もあるうに、単語以外で頭の中に鳴り響いた事は、ソレだけだったのです。

人間とつさの時には、体に擦り込まれている事しか出てこない訳で：私の英語力といいますが、原点は「デイス・イズ・ア・ペン」しかないのかと哀しい気持ちになったのでした。

そこまで考えて「ハッ」としたのです。じゃ、弓道は？私の体に擦り込まれている物って？原点とか語れる程、弓道歴が長い訳でも無いのですが、審査とか、大会とか、とつさに出てくる物っていったい!!

突然、折にふれて先生方が「普段通りにやって下さい。それ以上の事は出来る筈が無いのですから」とおっしゃった言葉の、本当の意味が「解かった」気が致しました。

苦笑と共に、日頃の練習態度や心構えを反省し、自らを戒めたのでした。

とつさに出てくる物が、「デイス・イズ・ア・ペン」ではイヤハヤ... (松本支部 中田 美千)